

MSC-B型
MSH-B型

消耗部品のお買い求めについて

中せん・パッキンは消耗部品です。(熱や蒸気にふれるため、ご使用にともない傷んでくる場合があります。)

1年を目安にご確認ください。

汚れが目立ってきたり、ゆるくなってきたら、お買い上げの販売店、または「連絡先」に記載のタイガーお客様ご相談窓口でお買い求めの上、交換してください。

品名
交換用中せんセット*
せんパッキン
注ぎ口パッキン

*交換用中せんセットは、せんパッキン・注ぎ口パッキンつきです。

仕様

材料の種類	本体	材料
	本体内側(内びん)	ステンレス鋼
	本体外側(胴部)	ステンレス鋼
	肩(口金)	ステンレス鋼
	コップ	ポリプロピレン
	中せん	ポリプロピレン
	パッキン	シリコン



品番

MSC-B 型
MSH-B 型

ステンレスボトル サハラスリム®

取扱説明書

このたびは、お買い上げまことにありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方が
いつでも見られるところに必ず保管してください。



© 2003 TIGER CORPORATION

SAHARA[®] SLIM

ここが、
うれしい!

- 軽くて、コンパクトなスリムタイプ
- 温かさ・冷たさが長持ちするから通学やお出かけに大活躍!!
- 持ち運びに便利なポーチつき (MSH-B 型のみ)

SAHARA[®]

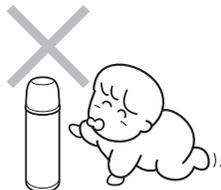
ご意見をお寄せください。 <http://www.tiger.jp/>

安全上のご注意

乳幼児の手の届くところには置かない。

また、いたずらに注意する。

やけど・けがなどのおそれ。



熱いものを入れたときは、必ずコップを使って飲む。

本体から直接飲むと、やけどなどのおそれ。

ドライアイス・炭酸飲料などは入れない。

内圧が上がり、中せんがあかなかつたり、内容物が吹き出たり、中せん・コップが破損して飛び散り、けがなどのおそれ。

牛乳・乳飲料・果汁などは入れない。

腐敗・変質の原因。また、そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して本体の内圧が上がり、中せんがあかなかつたり、内容物が吹き出たり、中せん・コップが破損して飛び散り、けがなどのおそれ。

みそ汁、スープなど塩分を含んだものは入れない。

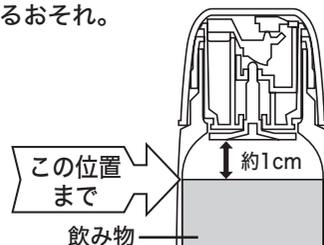
腐敗・変質・サビのおそれ。

お茶の葉・果肉などは入れない。

目づまりし、もれるおそれ。

飲み物の量は、図の位置までにする。

入れすぎると、オープンボタンがかたくなつたり、もれたり、あふれたりするおそれ。



肩部分にヤカンなどをあてない。

転倒して、やけど・けが・傷や変形のおそれ。

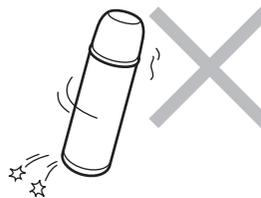


本体を傾けた状態や、顔などを近づけた状態で、オープンボタンを押さない。

熱湯が勢いよく出て、やけどのおそれ。

倒したり、落としたり、ぶつれたり、強い衝撃を与えない。

破損・保温(保冷)効果の低下・サビ・塗装はがれ・内容物がもれるおそれ。



コンロやストーブなど、火気のそばには近づけない。

やけど・変形・変色の原因。

飲み物の保温・保冷以外に使わない。

冷凍庫に入れない。

内容物がもれたり、破損のおそれ。

ポーチのベルトやひもを持って振りまわさない。(MSH-B型のみ)

人や物にあたって、けがや破損のおそれ。

本体外側が濡れている状態で、ポーチに入れない。(MSH-B型のみ)

サビやにおいの原因。

ポーチが濡れたまま使わない。(MSH-B型のみ)

衣服などに色がつくおそれ。

かばんなどに入れるときは、本体を立てて入れる。

横にすると、もれるおそれ。

分解・修理はしない。

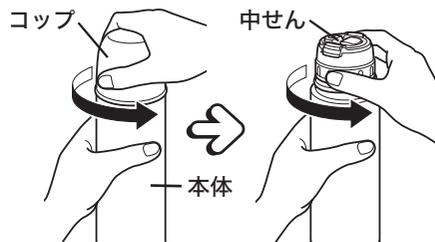
故障や事故の原因。

使いかた

1 コップ・中せんをはずす。

はじめて使うとき

本体内侧・中せん・コップをお手入れする。→P.6

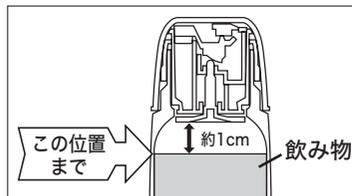


2 保温(保冷)効果を高めたいときは、少量の熱湯(冷水)を入れ、1～2分予熱(予冷)する。

予熱(予冷)後は、お湯(水)をすてる。

3 熱い(冷たい)飲み物を入れる。

●飲み物は、入れすぎないように図の位置までにする。



- 大きな氷を入れるときは、押し込まず、小さくしてから入れる。
- 本体にはお湯を入れ、お茶のときはティーバッグなどをおすすめします。(熱いお茶を入れると、お茶の色が変わることがあります。)

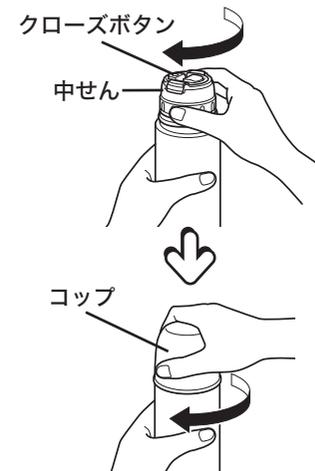
ご注意

本体外側にこぼれた飲み物は、必ずふき取る。

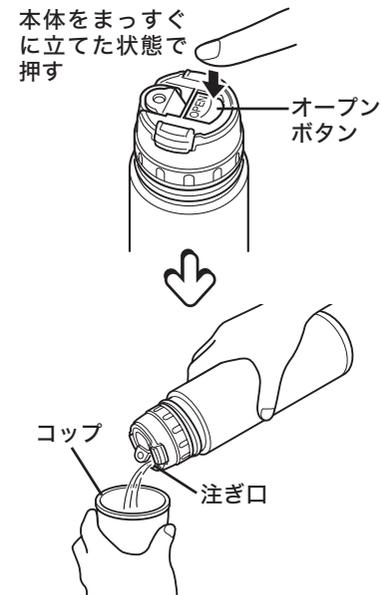


4 中せん・コップをしめる。

- 中せん・コップがまわらなくなる位置まで、確実にしめる。
- クローズボタンが押された状態になっていることを確認する。→P.5
- ポーチつきタイプは、ポーチに入れる(上下逆に入れない)。(MSH-B型のみ)



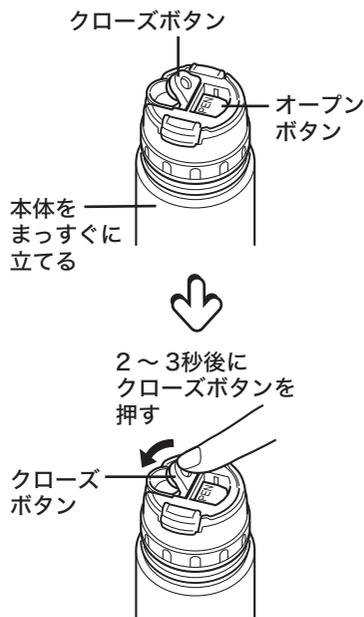
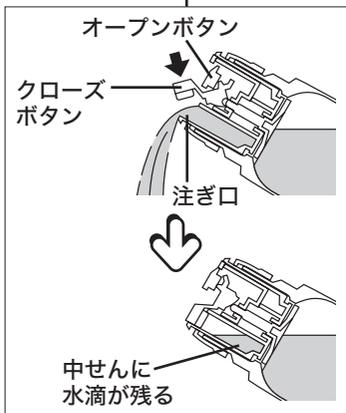
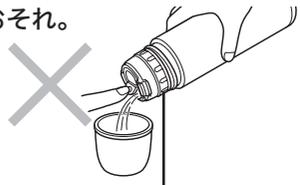
5 コップをはずし、オープンボタンを押してから本体を傾けて、飲み物を注ぐ。



6 注ぎ終わったら、必ず本体をまっすぐに立ててから、2～3秒後にクローズボタンを押す。

ご注意

本体を傾けた状態でクローズボタンを押さない。中せんの内部に少量の「水滴」が残り、持ち運ぶときなどに水滴がもれるおそれ。



7 コップをしめる。→P.4

コップの内側に残った「水滴」を振り切り、よくふいてからしめる。

お手入れのしかた

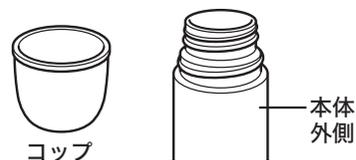
- ◆使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆洗剤は、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を使う。
- ◆スポンジ・フキンはやわらかいものを使う。



- ①洗剤をうすめた水またはぬるま湯で、スポンジを使って洗い、水で十分にすすぐ。
- ②十分に乾燥させる。

においを防ぐために

ご使用前や、お湯以外のもの(お茶や糖分を含んだものなど)を入れた後は、熱湯を入れて注湯をくり返し、充分にお手入れすると、においを防ぎ、清潔にご使用いただけます。



- ①洗剤をうすめたお湯にフキンをひたし、かたくしぼってふく。(丸洗いはしない。)
- ②乾いたフキンで洗剤分をふき取り、乾燥させる。

ポーチ(MSH-B型のみ)

フキンをお湯にひたし、かたくしぼってふく。(丸洗いはしない。)

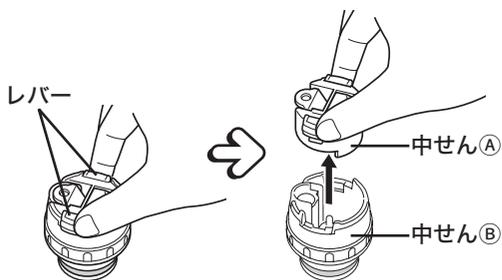
ご注意

- 本体・コップの丸洗いはしない。ポーチに入れたまま本体を洗わない(MSH-B型のみ)。
- シンナー類・クレンザー・漂白剤・化学ぞうきん・金属たわし・ナイロンたわしなどは使わない。
- 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸しない。
- 中せんのせんパッキン・注ぎ口パッキンは必ず取りつける。→P.7
- 長期間使わないときは、十分に汚れを落とし、乾燥させる。

中せん[Ⓐ]・[Ⓑ]のはずしかた・つけかた

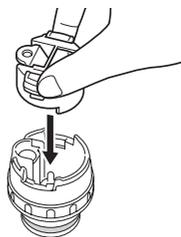
はずしかた

両側のレバーを、つまみながら持ち上げる。



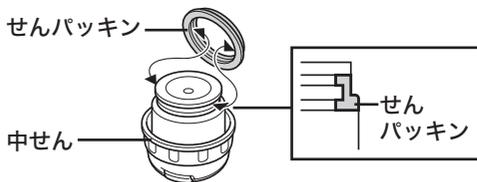
つけかた

「カチッ」と音がするまで、確実にはめ込む。



パッキンのはずしかた・つけかた

つけるときは、奥まできっちりはめ込む。



「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」が 本体内側に付着したときのお手入れ

「サビのような赤い斑点」や「ザラザラしたもの」は、水の中に含まれているミネラル成分(カルシウム・マグネシウム・鉄分など)です。汚れが目立ってきたら、以下の手順でお手入れしてください。

- ①クエン酸(約10g)をぬるま湯でうすめて本体に入れる。
- ②2～3時間後にやわらかいブラシできれいに洗い、水で十分にすすぐ。
- ③十分に乾燥させる。

不具合が生じたときは

こんなとき	ご確認いただくこと	直しかた
中せんから飲み物がもれる。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 中せん・各パッキンが確実にセットされていますか。 ▶ 中せん・各パッキンが損傷していませんか。 ▶ 飲み物を入れすぎていませんか。 ▶ 本体を傾けた状態でクローズボタンを押していませんか。 ▶ 中せんのオープンボタンを押した状態で、コップをしめていませんか。 ▶ 食器洗浄機や食器乾燥器などを使ったり、煮沸していませんか。 ▶ 落としたり、強い衝撃を与えていませんか。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 確実にセットする。→P.4・7 ▶ 損傷しているときは、お買い求めの上、交換してください。→裏表紙 ▶ 入れすぎないようにする。→P.3 ▶ 注いだ後は、本体をまっすぐに立ててから、2～3秒後にクローズボタンを押す。→P.5 ▶ クローズボタンを押してから、コップをしめる。→P.5
オープンボタンが押せない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 飲み物を入れすぎていませんか。 ▶ 熱湯を入れて振動を加えると、オープンボタンがかたくて押せないことがあります。(無理やり押さない。) 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 無理に押さず、1度中せんをはずして、飲み物を少量する。→P.3・4 ▶ 1度中せんをゆるめ、オープンボタンを押し、そのまましめ直す。→P.3・4
オープンボタンを押したときに、「シュツ」と音がする。	▶ 空気が抜ける音で、異常ではありません。	
保温(保冷)が効いていない。	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 熱い(冷たい)飲み物を入れていませんか。 ▶ 飲み物の量が少なくありませんか。少ないと、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。 ▶ 寒冷地や周囲の温度が高い場合など、使用環境の厳しい状況では、十分な保温(保冷)効果が得られない場合があります。 	▶ 熱い(冷たい)飲み物を入れる。→P.3
本体内側や中せんから異臭がする。	▶ 汚れが付着していたり、飲み物を長時間入れたままにいませんか。	▶ お手入れする。→P.6・7
本体の底から水もれする。	▶ 本体を丸洗いしていませんか(丸洗いはできません。)	▶ P.6